

# 市政関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成27年2月5日(木)午後7時30分～9時
会場	高屋公民館
地域座談会の内容(意見交換等の内容等)	
<p>① <b>今回の地域座談会は集まりが悪い。案内のチラシをもっと工夫し、コンテンツをはっきり示して、出席したくなるように配慮してほしい。</b></p> <p>→ 検討してみます。</p> <p>② <b>少子化対策をどうとらえているのか。共稼ぎが多い中で女性の働く場所を確保されていないと、女性は子どもを生んで育てていく自信がないのではないか。働く場の確保は男性中心であり、お母さん方への多角的な取り組みが必要でないか。また、その前に結婚しないといけない。結婚するための施策に行政はどこまで踏み込むか、いろんな政策を組み合わせるなど、考え方はあるのか。</b></p> <p>→ 少子化問題は雇用の問題と言われている。若い人たちは、将来の設計の見通しがたたないと子どもを生めない。非正規、臨時などでは将来が不安だと言われる。雇用状況が充実して正規雇用の働き場所を確保していくことが大事だ。共働きが多い山形県では1世帯あたりの所得を引き上げていく必要がある。働く場所や雇用の場の確保することが出産につながるのだと思う。女性が働きやすい職場、企業をつくって、子育て支援の環境をつくっていききたい。そして、若い夫婦への経済的支援や子育てしやすい環境、安心して夫婦が生活できる環境をつくっていききたいと思う。</p> <p>市でも、仲人の支援策をやっているが、うまくいく割合は少ない。市がお膳立てしても若い人は集まらない。婚活のボランティア団体もあり支援もしている。県でも広域的にやっており、土台づくりをしている。市でも一緒になって広い範囲で情報提供をやっていかなくてはいけないと思う。</p> <p>③ <b>私は67歳で団塊の世代だが、お年寄りが地域の中で学習の場、仲間作りできるような場を提供してほしい。</b></p> <p>→ 国、県の予算では高齢者への予算が大きく、高齢者は大事にされていると思う。高齢者でも元気な人はいろいろな場面で活躍してほしい。市では、さくらんぼ大学をつくった、勉強したいことがあれば要望を出してほしい。講座に反映してい</p>	

く。シルバー人材センターも県内トップクラスの営業成績を上げている。地域のためにボランティアなどでご活躍いただきたい。地域生き生きづくり元気づくり事業などもあり支援している。

- ④ **年寄りより若い人が集まるまちにしないではいけない。若い人が遊びに来るような娯楽施設をつくって、寒河江に来るようにしないといけない。そして、楽しんで子どもを生んでくれるようにしないではいけない。子どもを育てるのは大変だと教える教育も悪い。昔は、子どもを生んだら楽しいと教えられた。根本的に直さないといけない。市役所にも結婚しない職員が多い。教師も代議士も同じだ。採用試験で結婚の意志を確認すべきだ。**

→ 県庁職員も頑張っている。市役所にも確かにいる。なかなか難しい。

- ⑤ **テレビでもやっていたが、寒河江に移住してもらおうセールスポイントは何か。団塊の世代にとっては理想郷だ。田舎暮らしをしてみたいという人に何か工夫してアピールすることが必要でないか。どういう取り組みをしているのか。**

→ 都会の人がどういうことに興味を持っているか、実際に会って話してみてセールスポイントがわかってくる。自然豊か、農作物、四季、温泉、交通の便が良い、時間もゆったり流れている、希望する人にはいい場所だと思う。空き家300戸あり、利活用できないか、住環境を用意して準備しておくなどが考えられるが、具体的にまだ決まっていない。他の自治体と競争になるようだが、上品でないが割り切ってやっていかなければならない。

皆さんにお願いだが、東京の人に寒河江の情報を伝達してほしい。仙台寒河江会は500人いるが、東京にはそういった情報網、人材バンクのようなものがなく、これから作っていかなくてはならない。

- ⑥ **市立病院は赤字で、市内の個人医院から県中、山大、済生館へと紹介状で行く。同じような病院は必要なのか。市立病院はある治療に特化した病院にした方がいいのではないか。経営も安定するのではないか。**

→ 県中、山大、済生館に行く人が多い。地域の病院、河北病院などは地域の中で何を求められているか。急性期病院はパンク状態にある。全体的に患者は減ってきている。山大医学部だけは増えているが他は減っている。今病院には長くいられず3週間位で出なくてはならない。後を引き継ぐ療養型が必要になっている。地域の中では、医者の問題もあるが、かかりつけ医がもっと安心して回せる病院が求められている。専門の病院も厳しい、特化した医者が必要になってくる。医師の異動は山大医学部でないと動かさない。お願いするしかない。療養型の病院のニーズは出てくると思う。地域の病院のあり方のひとつかなと思う。120床位の採算は難しい。300床以上だとまだいいのだが、100~200床程度が一番大変だ。

市立病院は昨年の秋頃から少し営業成績は上がってきている。実際に半分以上のベッドはふさがっている。ある程度の人数は来ていただいている。来年以降に病院事業管理者を置きたいと思っている。

- ⑦ いい話をひとつ、2014 北海道・東北地区の住みよさランキングで、寒河江市は第8位、全国で131位となっている。ちなみに、1位名取市、2位東根市、3位大仙市、4位天童市、5位新庄市。南部地区は、1500世帯、5千人が住んでいる。南部地区は、スーパーはなくなり、道路も狭く分断されている。マツダ自動車近くの踏切改良も一向に進まない。鯉屋道路もつや姫道路とかして広くしてもらわないと、南部地区は発展しない。

→ 課題を何点かいただいた。以前要望をお聞きしたところ、1番が南部小前のビオトープの買収で、2番が踏切だった。ビオトープは昨年買収が済んで、踏切の工事について、JRにどの位かかるかを来年度の予算で見積もってもらうことにしている。場合によっては、列車を止めての工事で大がかりになるかもしれない。どの位かかるか、結果を地域の人に説明し相談していきたい。

- ⑧ 鯉屋道路の整備について、計画では両脇の家がかかるので、三和電機跡の団地の中の道路につなぐのはどうか。公民館の裏につながり、バイパスのようになるのではないか。

→ とりあえず待避場の幅を延ばすとか、そういう方法も考えられますので、地域の皆さんと相談していきたい。